

GPA 制度への QA 教職員用

2016.3

[概要と変更点]

- 平成 25 年度学群入学者から、成績証明書等に GPA が表示されるようになります
- 評語 A が A+と A に分割され、成績は A+, A, B, C, D の 5 段階評価となります
- 履修放棄した科目の評価は D または F になります
- 平成 28 年 4 月 1 日から GP (評価点) が次のように改定されます。

| 評語 | A+ | A | B | C | D | P | F |
|------|-----|---|---|---|---|---|---|
| 新 GP | 4.3 | 4 | 3 | 2 | 0 | — | — |
| 旧 GP | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | — | — |

- 新しい GP は、GPA 対象学生 (平成 25 年度以降入学の学群生) 全員に適用されます。
- GP の改定は過去に遡って適用され、累積 GPA と平成 27 年度までの学期 GPA は、新 GP による値に計算しなおされます。
- 平成 28 年 4 月 1 日以降、TWINS の成績確認画面、成績証明書、及び保護者への成績通知における GPA は、新 GP により再計算された値となります。
- 平成 27 年度秋学期の成績通知における GPA は旧 GP による計算ですが、平成 28 年 4 月以降に TWINS で表示される GPA は新 GP で再計算した値です。再計算に関する保護者への説明は、平成 28 年春学期の成績通知送付時 (平成 28 年 9 月) に行います。

Q1 GPA とは？

A1 GPA は **Grade Point Average** の略称で、アメリカにおいて行われている学生の到達度評価方法の一種です。授業科目ごとの成績を何段階かで評価し、評語に対してグレードポイントを付与してその平均を計算したものです。

修得単位数の多寡とは無関係なことや、成績評価の厳しい科目を多く履修する学生ほど GPA は低くなりやすい等の特性をご理解の上、他の評価指標と組み合わせるなど GPA の得失を踏まえたご利用をお願いします。

(文部科学省「大学における教育内容・方法の改善等について」
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/04052801/003.htm もご参照ください)

Q2 本学が GPA 制度を導入する目的は？

A2 学生は成績の状況を具体的に知ること、現在の履修のペースが適正かどうかを考えながら履修計画をたてられるようになります。たとえば、修得単位数が多くても GPA が低いなら、履修科目数を減らして個々の授業の理解により多くの時間をかける必要があることがわかります。

教員は、個々の学生の到達水準を測る目安として使用できます。履修している科目が概ね同じであるか、履修科目自体は異なっても成績評価の分布がほぼ類似していることを期待できる集団内であれば、GPAによる学生間の総合成績の比較もできるでしょう。15単位条項はごく限られた学生のための指標でしたが、GPAは科目履修をしている全ての学生を対象とした指標です。学期GPAの経時的な変化から学修のつまずきを早期に発見することもあります。修得単位数など既存の評価指標と組み合わせることで、きめ細かい指導ができます。

学生による自律的な活用、教員による学修指導への活用を通じて、筑波スタンダードが掲げる教育の質の保証を具体化する一つ的手段となることを期待しています。

Q3 いつからGPA制度が導入されますか？

A3 平成25年度以降の学群入学者に導入されます。平成24年度以前の入学者にはGPAは計算されず、成績証明書等にも表示されません。また、大学院への導入時期は未定です。

Q4 成績評価は変わりますか？

A4 はい、平成25年度から成績の評語と基準が次表のように変わります。学群・大学院を問わず、成績評価が5段階で行われます。A+、A、B、CとPが合格で単位修得でき、DとFが不合格で単位修得できません。学生が履修を放棄した場合、平成24年度まではXの評価を与えることができたのですが、平成25年度からは全て不合格（DまたはF）となります。

また、これまで「合格及び不合格の評語を用いることができる科目」は事実上フレッシュマン・セミナーに限られていましたが、授業の実施形態や教育目標から適正である場合は、学群履修細則に定めることでP/F評価を行う科目を追加できることとします。

この場合、PとFはGPA計算対象外になります。

| 評語 | GP (評価点) | 評価基準 | 参考 (100点満点での目安) |
|----|-------------|---------------------------|--------------------|
| A+ | 4.3 | 到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている | 90点以上 |
| A | 4 | 到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている | 80～89点 |
| B | 3 | 到達目標を達成している | 70～79点 |
| C | 2 | 到達目標を最低限達成している | 60～69点 |
| D | 0 | 到達目標を達成していない | 60点未満 |
| P | — | 定められた学修水準に到達している | — |
| F | — | 定められた学修水準に到達していない | — |

Q5 成績評価分布には目標あるいは基準が定められますか？

A5 筑波大学の GPA 制度を国際通用性があるものにするためにも、成績評価の厳格化が求められます。そのため、専門学群、学類、共通科目運営部会を単位に、成績評価分布の目標をあらかじめ定め、公表します。目標水準の記述例としては

- 「A+と A の割合をおおむね 30%以下とする」
- 「A+の割合は A の割合以下、A+と A の合計の割合は B の割合以下とし、C の割合は B の割合以下とする。」

などが考えられます。

Q6 成績評価分布の目標水準及び達成状況は、誰がどのように管理するのですか？

A6 専門学群・学類、共通科目運営部会が行います。方法は各組織に一任されますが、達成できたかどうかの判断や改善のための検討が求められます。なお、目標と各年度の達成水準（組織毎の集計値）は大学として公表します。

Q7 GPA 算出の対象となる科目は？

A7 当該学群・学類の学群履修細則に規定する卒業要件に係わる科目が対象になります。ただし、卒業要件に含まれる場合であっても、本学で修得した単位として認定された科目、P または F で評価される科目は除外します。また、専門学群、学類を単位に、他学群・学類の科目履修を促進することなどを目的に、GPA 制度の趣旨に反しない範囲で、GPA 計算の対象から除外する科目が指定できます。対象外科目は各学群の履修細則で定めることとしています。

Q8 GPA の計算方式は？

A8 GPA の対象科目を用いて計算します。「学期 GPA」は当該学期における学修の成果を示す指標で、当該学期の GPA 対象科目について基準時点（決められた日時）の GPA を算出したものです。「累積 GPA」は入学以来の全期間の学修の成果を示す指標で、入学以来の GPA 対象科目全てについて GPA を算出したものです。計算式は以下のとおりです。

$$\text{GPA} = \frac{(A+)\text{の単位数} \times 4.3 + A\text{の単位数} \times 4 + B\text{の単位数} \times 3 + C\text{の単位数} \times 2 + D\text{の単位数} \times 0}{\text{GPA対象科目の総履修登録単位数}}$$

なお、GPA は小数点第 2 位までとし、小数点第 3 位以下は切り捨てます。

Q9 GPA は誰が計算するのですか？

A9 TWINS で自動計算されます。

Q10 GPAはいつ計算されるのですか？

A10 学期 GPA と累積 GPA は春Cと秋Cの成績入力期限直後の決められた日時に計算されます。その日以降に成績評価が変更されても学期 GPA には反映されません。累積 GPA は成績証明書を発行する都度、その時点の成績で再計算されますが、TWINS の画面には次の学期 GPA 計算時まで反映されません。GPA が正確に計算されるには成績入力期限の厳守が必要です。

Q11 GPAはどこに表示されるのですか？

A11 TWINS 上で成績とともに表示されます。成績証明書では成績、GPA とその算出方法があわせて記載されます。保護者への通知には専門学群、学類における同年次の GPA 平均値等も含まれます。

Q12 教員・職員は GPA を閲覧できますか？

A12 TWINS で、クラス担任はクラスの学生の、指導教員は指導学生の、履修状況や成績、GPA が閲覧できます。

Q13 GPA はどのように使われますか？

A13 成績証明書に記載された GPA が、大学院の入学試験や学外の奨学金選考、就職の選考などで参照されるかもしれません。学内では主に修学指導に使われることを想定しています。

Q14 GPA が一定基準に達しないと、退学勧告などが行われるのですか？

A14 現時点ではそのような利用は考えていません。学生自身の自己管理を通じて学修状況が改善されることを期待しています。

Q15 GPA を進級や卒業研究履修の条件等に利用できますか？

A15 はい、できます。原則として入学時点で、そのような使い方を周知する必要があります。進級条件が学群履修細則で定められている場合は細則の改訂が必要です。

Q16 学生が授業に出ることをやめ、履修を放棄した科目の取り扱いは？

A16 A4 に記したように、平成 24 年度までは成績評語に代えて X が入力できましたが、これからは D（合否による評価を行う科目にあっては F）を入力してください。D の場合、GPA の計算対象科目であれば GPA の計算の分母に含まれ、GPA は悪化します。

Q17 履修登録を取り消すことは可能ですか？

A17 当該科目の履修登録期間内であれば、学生自身が TWINS で履修を取り消せます。期間後は、特段の事情がある場合は、履修申請変更願を学群長に提出すると取り消しが認め

られることもあります。履修が取り消された場合、GPAには算入されません。

* GPA制度へのQA教職員用においては、QA学生用で説明した事項と重複する内容について、一部省略しています。つきましては、QA学生用についても、必ずご確認ください。